



組合員活動 NEWS



No. 5

2025年
7月25日
発行

恩田中央支部 念願叶って“かいなん”ボランティア訪問



恩田中央支部は「グループホームかいなん」でのボランティア訪問を以前より計画していました。しかし、コロナ禍の行動制限により、長いこと実行が出来ないままでした。

今年4/24、念願叶い、施設訪問できることがわかり、組合員有志で予行練習を重ねました。

当日は利用者さんの参加型で手や身体を動かし、歌や劇を披露し、喜ばれました。

そんななか、驚くような出来事が待っていました！

91歳元支部長（元教師）が、施設入所中の同じく90代の女性（元教師で元同僚）の方と、数十年ぶりに奇跡の再開を果たすことが出来たのです。初めはお互い気付いてかったのですが、話しが進むうちに…「えっ、まさかあの時の…」最後はお互いに手を取り合って驚きの再会が待っていました。こんなドラマみたいな話って実際にあるものなんですね。

健文会は活動制限の解除とともに、地域組合員による事業所ボランティア活動をはじめました。これからも組合員の活躍の場をつくり、協同組合の事業所としての品質を高めていきます。お問い合わせ窓口は、まちづくり組合員活動支援部までお願いします。



地元で新たな出会いと連携づくり～JA宇部店で新規まちかど

5/23、生協上宇部クリニックの地元にある「JA宇部店」で初めて「まちかど健康チェック」を実施しました。

国際協同組合年ということもあり、何か連携して活動ができないかと事業所で検討を重ねて、地元、琴芝支部に合同開催をよびかけ実現に至りました。朝10時から開始。JAで買い物されたお客様に、帰り際「健康チェックしませんか？」と声掛け。「骨密度測定できるの？やってみたい」と、うれしい反応が返ってきて、みるとみる間に人だかり。1時間半のとりくみで30名の参加がありました。

生協上宇部クリニックのK事務長、M師長と琴芝支部から3名の組合員が参加し、クリニックの検診のお誘いや琴芝支部の組合員活動を知らせました。

次回、2回目は9月26日で予定しています。

定期的に開催しながら地元地域と新たなつながりが生まれるといいな♪



「動物ラブ♡班会」誕生！小野田南支部



昨今、高齢世帯や高齢のひとり暮らしの方が増えてきました。そこで、動物を通じて人とつながる班会をつくってはどうかと、支部で検討し、誕生したのが「動物ラブ班会♡」。動物好きな方、ふれあってみたい方、だれでも参加OK。

5/31、初めて班会を江汐公園で開催しました。



初夏の心地よい日差しの中、バラ園などをお散歩。犬を飼ったことのない方も「お散歩体験」させてもらいました。自分の行きたい方へぐいぐい引っ張るワンちゃんの力に圧倒されたとのこと。希望されるみなさん、よかつたら今度、ご一緒にお散歩しませんか！

自己紹介＆交流話（一部ご紹介）

- ◆ 体調が悪く、寝たり、起きたりだった頃、生まれたての猫を組合員さんから預かった。その子猫の面倒を見ているうちに元気を取り戻し、散らかっていた部屋も片付けられるようになった。この子が私を救ってくれた。(Hさん)
- ◆ 自宅の2階の部屋を開放して地域猫のお世話をしている。猫も人間と同じで食事の好みが違うため、それぞれの猫用に餌を変え、世話をしている。(Yさん)
- ◆ 動物の保護活動をしていて、今日も保護犬を連れて来た。預かってもう1年になる。1年前は毛並みも悪く肥満気味だったが、食事と運動をきちんとすることで体調も整ってうれしい。(Nさん)

7月1日、琴芝支部の手配りさんより、お米の提供がありました。（写真下）

手配りさん：「健康のひろばの記事を見て連絡しました。食材支援でお渡しするお米が品薄で手に入らないと知り、少しでも協力できれば…。」と。お電話を受けて担当支援部員がご自宅まで受け取りに伺いました。

手配りさん：「先週買ったばかりだったんだけど、ちょうど娘がお米をもって来てくれて…。せっかくだから新しいうちに皆さんに食べてもらいたい。」と。その他にも本当に多くの地域組合員、職員より連日支援部に物資が寄せられ、医療生協の底力を実感しています。おかげさまで毎月の食材支援活動で使う食材確保につながっています。物価高騰の折、皆様の温かいご協力に感謝します！



～今後の主な予定～

◆ 宇部地域「何でも相談会＆食材支援活動」

7月30日(水)9時30分～ 生協ふれあい会館

◆ 「健文会・健康まつり2025」第4回実行委員会

7月31日(木)13時30分～ 病院・多目的室

◆ 「健文会・平和学校」<参加費無料>

8月29日(金)14時～16時30分 病院・多目的室

